

板野中学校 同和教育だより

MY SKY 第18号
マイ・スカイ

2002年2月19日(隔週火曜日きまぐれ)発行

p(>_<)q

発行者

編集・文責
龍吉成正士

あなたは誰かの役に立っていますか？

あなたは誰かの役に立っていると感じ、生活できているでしょうか？

少し前、「人の役に立つ人間になれ！」とおじいちゃん、お父さんから教わってきた人のことがテレビに出ていました。その言葉が、なぜか私の心に入り込んできて離れないのです。その人は、自らその言葉通りに実行していったおじいちゃん、お父さんの背中を見て育ち、自分も医者らしからぬ医者として活動しているのだそうです。さて、私は誰かの役に立っているのでしょうか……？

誰かの役に立っていると感じる時ってどんな時だと思いますか？みなさんなりに考えてみてください。実はこの1～2年ぐらい、私は、

「あっ、自分で人の役に立ってるんだ……」

と感じてきたことがありました。それはさりげない、ふとした「ありがとう」の一言でした。「ありがとう」と言える人はたくさんいるのですが、何故かある一人の「ありがとう」だけが、すごく新鮮だったのです。

「どうして他の人の『ありがとう』と違うとを感じるんだろう……？」

と考えてみました。それはたぶん、あまりにも「自然」だったからじゃないかなと思うのです。形式張った「ありがとうございました」も時によっては必要なのですが、そうじゃなくって、自然な会話のように出てくる「ありがとう」だったから、新鮮に感じ、「人の役に立ってる」と感じたんじゃないかなと思うのです。

地獄と天国には、同じモノがあると言います。それは、おいしそうな料理がたくさん並べられた大きな大きなお皿と、身の丈よりも長いお箸なんだそうです。地獄にいる人々も、天国にいる人々も、同じようにお皿の周りでお箸を持って、おいしそうな料理を食べようとしているのだそうです。

ところが地獄の人々は、われ先に食べようと、なが～い、なが～いお箸で遠くの方の料理を掴むのですが、お箸が長すぎて口に入れられないそうです。そのうち食べられないイライラが他の人へと向けられ、大皿の周りは修羅場となっていくのだそうです。

さて、天国の人々はどのようにしているのでしょうか？天国の人々は、お箸が長すぎて自分で食べられないと知ると、まず遠くの方の食べたい料理を聞いて、それを掴んでは「どうぞ」と差し出すのだそうです。するとその遠くの方は、「ありがとう」と料理をほおぼるのだそうです。

舞台女優。1928年大阪市生まれ。57年韓国関西芸術大学の創立に参りてと事績、いれたる差別に対しまくしく抗議し「まぐれ女」の主演を演じ続けた。「北ミコ伝説」では部落出身の女性の一生を明るく、たくましく演じ、大衆を呼びこんで、山田洋次監督の映画『学校』で同僚中津よう子と朝鮮人の女のおはん役で出演。著書に『青春打撃』『涙につけて』がある。

9月6日、徳島市文化センターで開催された日本児童福祉学会で、県民局として存する恵や児科病センターに就いた。

とりあえず、劇のあらすじです。読んでおいてください。

神野花火は、若水中学校で国語を担当している2年目の新米女性教師。24才。クラス生徒たちからは、毎日のように「ヤーイ、セン公花火ィ！」とからかわれていた。それでも花火は、自分の名前を気に入っていた。

「人生は一瞬の花火、一瞬だからこそ、素晴らしい！」

だが、花火には秘められた過去があった。学生時代、花火には結婚するつもりでつき合っていた彼(黒木)が、花火大会の夜、理由も告げず「別れよう！」と一方的に去って行ったのだった。泣きながら、一人で帰った夜の坂道。夜空には打ち上げ花火が次々とあがっていた。それ以来、花火のクセは、公園でする一人きりの線香花火だった。

そんなある日、いつものように花火が線香花火をしていると、日頃から教師たちが手を焼いている悪ガキの哲男らがやってきて、「オオッ、セン公が線香花火やっとな！」とハヤシたてる。しかし、黒木との思い出を汚されたくない花火は、哲男らに逆襲をする。

万引き、不登校、いじめ、無関心、暴走族、関心を引こうとする生徒、しゃべれない生徒、保健室に閉じこもってしまう生徒……そんな荒れる教室の中に、一言も口をきかない女生徒あかねがいた。なぜかいじめの標的となっているあかねに、哲男だけが優しくかった。

ある日、教室で事件が起きる。一人の生徒が、あかねの弟(守)に障害があることをバラシたのだった。あかねを笑いモノにするクラスメイトに、激怒し、殴りかかる哲男。「やめて！」初めて聞くあかねの声。「オレはあかねの弟が大好きなんや！守のこと笑いモンにする奴はオレが許さん！」哲男の叫び。

その夜、あかねは花火と哲男に告白した。「あたし、実は朝鮮人なの……」哲男はさわやかに言葉を返した。「それがどないしてん！」哲男と花火は、あかねの吹くオカリナの音色を、静かに聴いた。

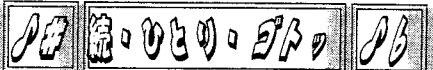
数日後、哲男が学校の屋上で花火を打ち上げ大騒ぎとなる。哲男の行動が、なぜか荒れはじめたのだった。

そして、荒れの理由が分かる日がくる。ある日の夕暮れ、哲男が公園で不意に花火に言った。「セン公花火ッ、ブラックってなんや？オレの家、ブラックやねんて。……」何も答えられず曖昧に返答する花火に、哲男は激怒する。茫然となる花火……私はそれでも教師といえるのか？

しかし、「ブラックは自分とは関係ない」と感じていた花火の身近に、実はとんでもない事実が隠されていることが、今明らかになっていく……。

愛と苦しみ、優しさと怒りの嵐の中で、社会の真実に向き合う教師、神野花火。

この続きは22日の舞台にて！！



■徳島県公立高校入試願書^{しめきり}切が近づいてきました。

3年生の多くの人^{むか}が、いよいよ本番を迎えるわけです。今週末には私立・国立の入試も行われます。3月1日には公立入試直前実力テストもあります。3年生ばかりかと思えば、1・2年生も2月20日には基礎学力テスト^{ひか}、3月4日からは学年末テストが控えています。つまりどの学年も、**テストラッシュ**というわけです。「もう間に合わないから……」とか「テストは実力で……」とか、訳^{わけ}の分^わからない屁理屈^{へりくつ}をこねずに、自分の全力が出せるよう、今から頑張っておきましょう！

000 2月20日～3月23日 000

- 2月20日(水) 徳島県公立高校一般入試願書締め切り日、1・2年生基礎学力テスト
- 22日(金) 3年生を送る会「ひとり芝居『花火』」(午後；さくらホール)
- 23日(土) 成徳高校一次入試
- 24日(日) 阿南高等専門学校一般入試
- 3月1日(金) 3年生実力テスト
- 4日(月)～6日(水) 1・2年生学年末テスト
- 8日(金) 学習会閉講式
- 12日(火)・13日(水) 徳島県公立高校一般入試
- 16日(土) 卒業式
- 22日(金) 修了式
- 23日(土) 学習会春季一日研修(7:30～19:00；大版人権博物館「リバイおおさか」など)